

Xmas バイキング ランチ

今年も
12月24日、25日
「今から楽しみ」

十二月恒例のクリスマス・バイキングランチが今年も二十四、二十五の両日にディサービス響のフロアで開催されます。今年のメニューは、ちらし寿司に焼きそば、サンドウィッチ

チをはじめ、ミートローフ、アジの中華あんかけ、グラタン、エビフライ、茶碗蒸しなどのほかにデザートも盛りだくさん。ご利用者はもちろん、職員たちも今から楽しみにしています。

盛りだくさんのメニュー

「認知症は老化への人間的な反応」

三好春樹さんの認知症を知るセミナー



介護職や看護職など23名が参加したセミナー

セミナーでは、認知症の原因物質として注目を集めている「アミロイドβタンパク質」の話がありました。三好さんは「このタンパク質が脳に沈着するに長い年月がかかります。いままでも普通に生活していた方が病院に入院し、おむつをあてられ、手足を抑制されるといった二日

で認知症になってしまふ。こうした事例から考えられるのは、



生活とリハビリ研究所を主宰する三好春樹さんⅡ写真Ⅱの「認知症を知るためのセミナー」がこのほど、当センターにて開催されました。県内外から介護職や看護職などのほかに、地元老人クラブの方やデイサービスを利用しているご本人とご家族など、あわせて二十三名の方が参加されました。

「介護の仕事が続けていく元気をもらいました」

脳の病変だけにとらわれない ユーモアと気づきに富んだ事例を紹介

認知症のタイプ別ケアのポイントを学ぶ

「地域ケア」をテーマに意見を交換
グループホーム響で運営推進会議を開催
町内会長をはじめ、ご利用者のご家族など九名が参加され

ました。この会議は地域や家族との連携と介護への理解を深めることを目的に開かれています。会議では、ご利用者の普段の様子やお出かけイベントの報告が行われたあと、「地域ケアを考える」をテーマに意見を交換しました。

脳の病変だけが認知症の原因ではないということ。介護の現場では、周囲の環境の変化や老化への人間的な反応をみるのが大切だ」と解説されました。こうした視点に立った上で、認知症のBPSD(問題行動)から分類した三つのタイプである「葛藤型」「回避型」「遊離型」を提示。タイプ別の具体的なケアについて、ユーモアと気づきに富んだ事例を紹介しました。参加された方々は、「これからも介護の仕事が続けていく元気をもらいました」と笑顔になっていました。

デイサービス響で近所の公園におでかけリハ

色づいたイチョウ並木に「きれいだね」とニッコリ

デイサービス響では、このほど歩行リハビリを兼ねて、近所の公園に紅葉狩りに出かけました。

この日訪れたのは通称まむし公園と呼ばれ、近所の方々に親しまれている三田第三公園。イチョウ並木や桜の古木があることで知られています。

黄色に色づいたイチョウ並木はちょうど見頃で、訪れたご利用者たちは、「きれいだねえ」と喜びの声をあげ、ゆっくと公園内を散策しながら、紅葉狩りを楽しみました。

色づいたイチョウ並木の下を散策するご利用者たち



紅葉狩り

平成 26 年
12 月 版

ひびき通信